



## 特別支援教育について

近年、特別支援教育のニーズが高まっていることは、保護者の皆様もご存じのとおりです。学校現場では一人一人の子どもたちに応じた支援の重要性を考慮しながら、教育活動を行うよう努めています。

特別支援教育は、発達や学習に困難を抱える子どもたちが、安心して学び、成長することができる環境を整えるための教育だと考えます。子どもたちには、それぞれ得手不得手がありますから、誰にでも「困ったな。どうしよう。」と思う場面があります。それは、きっと大人も同じだと思います。ですから、**特別支援教育は、特定の子どもだけに向けたものではなく、全**



**ての子どもを対象としています。**互いに認め合い、共に学び合う「共生社会」や「多様性を尊重する社会」の実現をめざす取組でもあります。

特別支援教育では、子どもの特性を理解し、個別の教育支援計画や個別の指導計画に基づいて、学習方法や環境を工夫しています。例えば、視覚的な手掛かりを増やして見通しがもてるように支援をしたり、休憩のタイミングを調整することでクールダウンを図ったりしながら、子どもたちが自分の力を発揮しやすくしています。タブレット端末を効果的に活用することもできます。こうした支援は、子どもの自己肯定感を高め、将来の社会参加にもつながると考えています。

特別支援教育は、先述の通り特別支援学級だけでなく、通常学級においても必要な視点です。本校の特別支援学級は、「やまぶき学級」という名称です。やまぶき学級の子どもたちは、通常学級で交流学習もしています。双方が多様な子どもたちと関わることで、互いを認め合いながら、よりよい成長をしてほしいと思います。そのためには、学校全体で子どもたちを包み込んでいく「インクルーシブ教育」の考え方が大切だと考えています。偏見や差別によって排除されるようなことがあってはなりません。どの子も安心して生活することができる空間、よりよい居場所が必要であるということは、人権・同和教育にも共通する考え方だと思います。



保護者の皆様には、特別支援教育が「特別なこと」ではなく、「誰もが安心して学べるための手段」であることを、改めてご理解いただきたいと思います。お子様の成長を支えるためには、学校と家庭が連携し、共に歩むことが何よりも大切です。本校では、特別支援教育コーディネーターを2名配置しています。ご不安なことやご質問がありましたら、どうぞ遠慮なくご相談ください。



私たち教職員は、すべての子どもが笑顔で過ごせる学校づくりをめざしています。皆様のご理解とご協力を、心よりお願いいたします。